

2026 度 工学院大学文化会 方針

工学院大学文化会

2026 年度工学院大学文化会会長 朱 融子



工学院大学文化会
印文院

出席率の高い総会を開催するため、今年度も日程の伝達を迅速に行う。各団体の文化会役員を通じて、こまめに連絡を行うことで円滑に委任状の回収を行えるようにする。

【声優トークショー】

声優トークショーは、新宿祭の活性化のために文化会が主催するイベントである。そのため、昨年度までの反省点を改善した上で、皆様が楽しめるイベントとして新宿祭の成功に寄与する。

警備を強化させアーストの安全性を保障することで、観客の方々に楽しんでもらえるように努める。新宿祭は本部の役員が中心となって活動するが、来年度のために支部の役員にも仕事を割り振り、打ち合わせや情報共有を新宿祭実行部と連絡をより密に行う。

【激躍の作成】

激躍は各部活動や同好会の情報をまとめた会誌である。これは本会の OB、OG や本学の学長、学生支援課の方、各部の代表から寄稿していただき作成する。激躍は新入生に配布される封筒に同封されることから、新入生に文化会所属部活動を身近に感じてもらうことができる。

以上を 2026 年度工学院大学文化会の方針とする。

1.存在意義

工学院大学文化会は、工学院大学の文化会所属の部員全員によって構成される団体であり、文化会役員は文化会所属の部活動から選出される。本会は文化会に所属する部活動がより円滑な活動を行う事が出来るよう補佐することを役割として存在している。加えて、本会は学生団体の一機関としての役割も担い、他の委員会や大学当局とも協力して活動を行う。様々な団体間の橋渡しの役割を担い、工学院大学の文化会所属部活動の更なる躍進に尽力する。

2.方針

工学院大学文化会の活動は、文化会所属部活動を促進し、文化会系部活動の質を高めるための文化創造活動の支援のために行う。また、部活動間の連携をより深める事で、トランスのない円滑な活動を行えるように努める。

本会は平時の活動だけに留まらず、学園祭の成功にも寄与する。

3.役員会

役員会は本部役員と各部長で構成される文化会の最高決議機関であり、本会の問題点を指摘及び大学側への要望を討議する場である。

基本として、役員のみでの参加とし、部長陣には学期ごとに数回参加して頂く。部長陣を集める日程を集中させることで、参加率を上げ、一つ一つの会議の内容をより深めていけるように心掛ける。

4.活動内容

【連絡会議】

連絡会議は本会に所属する部活動への連絡を担う場であると同時に本会の部活動相互の活動を認識するための場である。

対面だけでなくオンラインも活用しつつ、連絡会議は本部・支部ともに不定期で開催し、必要な時に必要なだけ取り行う。また、不参加の文化会役員にも必ず情報の共有を行う。

【文化会総会】

文化会総会は本会の最高決議機関であり、本年度予算や方針の承認を得る場である。同時に前年度の総括、決算報告の承認を得る場である。